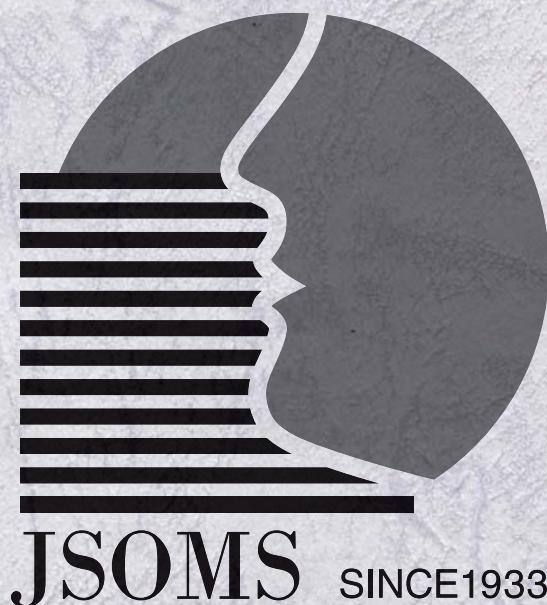


第38回(公社)日本口腔外科学会 中部支部 学術集会

プログラム・抄録集



会期◆平成25年(2013年) 6月15日(土)

会場◆名古屋国際会議場

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1-1

会長◆水谷 英樹

藤田保健衛生大学 医学部 口腔外科

ご 挨 拶

第38回(公社)日本口腔外科学会中部支部学術集会

会 長 水谷 英樹

第38回(公社)日本口腔外科学会中部支部学術集会を開催させていただきますことを光栄に感じ、ご挨拶申し上げます。

先生方のご協力によりまして、応募演題数は51となりました。お忙しいなかたくさん演題を頂戴いたしました。ありがとうございます。

地方会の特徴として、総会とは異なるアットホームな雰囲気の中、Face to faceで意見交換ができること、近隣の施設での治療に対する考え方や成績を垣間見ることができること、発表をきっかけに施設間での連携や共同研究に発展しやすいこと、などが挙げられると思います。先生方のご発表がこの地区での口腔外科、あるいは病院歯科の更なる発展に繋がることを期待しております。

本会では、特別講演としまして当大学の分子遺伝学研究部門の倉橋浩樹教授に「全ゲノムシーケンス時代を迎えた遺伝医療の現状と展望」についてお願いしました。日常臨床では、ほとんど治療を主体にしておられる先生方にとっても疾患の診断根拠や予後に有用な情報をいただけるものと期待しております。また、教育講演では、当院精神科教授の内藤 宏先生に「医療現場におけるコンプライアンス：患者さんとのよりよい関係性の構築にむけて」という題でお願いしました。先生は当院研修医の「心のケア医」を担当されておられ、若い先生方が悩み多い患者さんとうまく向きあえばよいのか、医師としてのモチベーションをどう維持するか、など示唆に富んだお話が聞けるとと思います。

また、本会主催のリフレッシュセミナーでは、「周術期口腔管理」のパイオニア的存在でいらっしゃる静岡がんセンター歯科・口腔外科部長 大田洋二郎先生に「病院におけるがん患者の周術期口腔機能管理を地域医療連携で運用するための考え方」についてお願いしました。がんと診断された患者さんの入院前、入院中、退院後の口腔機能をいかに維持、向上させるかをシームレスに行うシステムについてのお話を伺えると思います。若手のみならず、熟練の病院歯科や口腔外科を担当されている先生方にも有益な講義になるものと確信しております。当日の申し込みも可能ですので、口腔外科学会専修医、専門医を受審、あるいは更新を予定されておられる先生方は是非ご参加ください。

ランチョンセミナーとしまして2会場を用意しました。1つは当院形成外科准教授 奥本隆行先生に「われわれが取り組んでいる先天異常を中心とした頭蓋顎顔面外科 ～機能と整容の両立を目指して～」、もう1つは当院精神科准教授 北島剛司先生に「睡眠障害とうつ ― 歯科領域との関連」について講演していただきます。

今回は法人変更後の初回開催となり、準備、運営に支障をきたすこともあるかと存じますが、先生方のご理解とご協力のほどお願い申し上げる次第です。最後に、本会開催にあたりご協力いただきました関係各位に感謝申し上げます。

(公社)日本口腔外科学会中部支部学術集会
(旧(社)日本口腔外科学会中部地方会)
開 催 一 覧

	期 日	担当施設	会 長 名	会 場	開催地
1	1976/11/28	愛知学院大学	永井 巖	愛知学院大学歯学部講堂	名古屋市
2	1977/11/20	岐阜大学	岡 伸光	岐阜大学医学部講堂	岐阜市
3	1978/11/18	金沢大学	玉井 健三	金沢大学医学部十全講堂	金沢市
4	1979/11/16	三重大学	村田 睦男	三重教育文化会館	津市
5	1980/11/23	浜松医科大学	茂木 克俊	浜松医科大学講堂	浜松市
6	1981/11/15	松本歯科大学	待田 順治	松本歯科大学講堂	松本市
7	1982/10/23	岐阜歯科大学	柴田 寛一	岐阜歯科大学 10周年記念講堂	岐阜市
8	1983/11/19	愛知学院大学	深谷 昌彦	愛知県歯科医師会館講堂	名古屋市
9	1984/7/1	信州大学	小谷 朗	松本市厚生文化会館	松本市
10	1985/6/9	金沢医科大学	塩田 覚	石川県教育会館	金沢市
11	1986/6/8	公立陶生病院	大谷 瑞夫	名古屋市中小企業振興会館	名古屋市
12	1987/6/14	福井医科大学	石井 保雄	フェニックスプラザ	福井市
13	1988/5/15	市立伊勢総合病院	富田 陽二	皇学館大学講堂	伊勢市
14	1989/6/11	愛知医科大学	山田 史郎	愛知医科大学講義室	愛知郡
15	1990/6/3	岡崎市民病院	山田 祐敬	岡崎市民会館ホール「甲山会館」	岡崎市
16	1991/6/9	名古屋大学	金田 敏郎	名古屋国際会議場	名古屋市
17	1992/6/14	国立名古屋病院	玉城 廣保	国立名古屋病院講堂	名古屋市
18	1993/6/1	富山医科薬科大学	古田 勲	富山県民会館	富山市
19	1994/5/21	松本歯科大学	平野 武廣	松本歯科大学講堂	松本市
20	1995/6/17	藤田保健衛生大学	日比 五郎	豊明市文化会館	豊明市
21	1996/6/22	金沢大学	山本 悦秀	金沢大学医学部十全講堂	金沢市
22	1997/5/31	愛知学院大学	河合 幹	愛知学院大学歯学部基礎教育研究棟	名古屋市
23	1998/6/20	名古屋市立大学病院	横井 基夫	名古屋市立大学医学部研究棟	名古屋市
24	1999/5/29	名古屋第一赤十字病院	下郷 和雄	愛知県がんセンター国際交流センター	名古屋市
25	2000/5/27	浜松医科大学	橋本 賢二	アクティビティー浜松コンgresセンター	浜松市
26	2001/6/2	信州大学	倉科 憲治	Mウイング	松本市
27	2002/7/6	三重大学	田川 俊郎	アストプラザ	津市
28	2003/6/14	愛知学院大学	栗田 賢一	愛知学院大学楠元学舎	名古屋市
29	2004/6/12	朝日大学	兼松 宣武	朝日大学 5 号館	瑞穂市
30	2005/6/11	松本歯科大学	古澤 清文	松本歯科大学講義館	塩尻市
31	2006/6/10	大垣市民病院	長縄 吉幸	ソフトピアジャパン	大垣市
32	2007/5/26	石川県立中央病院	宮田 勝	石川県地場産業振興センター新館	金沢市
33	2008/5/24	岐阜大学	柴田 敏之	岐阜大学医学部本館	岐阜市
34	2009/5/16	福井大学	佐野 和生	福井大学医学部看護学科棟医学科講義棟	永平寺町
35	2010/5/22	名古屋大学	上田 実	名古屋大学 医学部附属病院	名古屋市
36	2011/5/21	中津川市民病院	澤木 佳弘	東美濃ふれあいセンター	中津川市
37	2012/6/2	金沢医科大学	瀬上 夏樹	石川県地場産業振興センター	金沢市
38	2013/6/15	藤田保健衛生大学	水谷 英樹	名古屋国際会議場	名古屋市
39	2014/5/17	信州大学	栗田 浩		

ご 案 内

1. 参加される皆様へ

- 1) 受付開始は9:10です。
- 2) 受付(名古屋国際会議場1号館4階141会議室前ロビー)で当日会費4,000円を納付し、ネームプレート(領収書兼参加証)をお受け取り下さい。
- 3) 会場ではネームプレートをご着用ください。
- 4) 総会は16:50からA会場にて開催致します。
- 5) リフレッシュセミナーは17:30からA会場にて行われます。受講料が別途4,000円必要です。後日、日本口腔外科学会本部より受講証を郵送致します。

2. 日本歯科医師会生涯研修カードをお持ちの皆様へ

- 1) 第38回(公社)日本口腔外科学会中部支部学術集会(研修指定コード2799)、第78回歯科臨床医リフレッシュセミナー(研修指定コード2199)はそれぞれ日本歯科医師会生涯研修事業認定研修会として認定されています。生涯研修カード登録は受付にてお手続き下さい。
- 2) 日本口腔外科学会中部支部学術集会の生涯研修カード登録時間は9:30～16:30です。
- 3) 歯科医師リフレッシュセミナーの生涯研修カード登録時間は17:30～19:00です。

3. 一般口演発表者の皆様へ

- 1) 「発表者」および「共演者」は(公社)日本口腔外科学会の会員に限ります。本学会未入会の方は発表前に下記学会事務局に御連絡の上、入会手続きをお済ませ下さい。
(公社)日本口腔外科学会事務局
〒108-0074 東京都港区高輪2-20-26-202
TEL:03-5791-1791 FAX:03-5791-1792
学会ホームページ URL: <http://www.jsoms.or.jp/>
- 2) 演題発表の10分前までに次演者席にお越し下さい。
- 3) 発表形式について口演の設定はPCプロジェクター単写、横のみです。スライドはMicrosoft Power Point 2010(Windows 7)にてご用意ください。発表時間6分、質疑応答2分です。

4. 後抄録について

後抄録は不要です。

5. 連絡先

第38回(公社)日本口腔外科学会中部支部学術集会準備委員会
藤田保健衛生大学医学部口腔外科 佐藤公治(準備委員長)
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98
TEL、FAX:0562-93-2209
E-mail: jsoms38c@fujita-hu.ac.jp

6. 質疑・応答

- 1) 発言は座長の許可を得て、所属、氏名を述べてからお願い致します。
- 2) 一般口演の追加、質疑、討論の時間は2分です。

7. 座長の先生方へ

- 1) 次座長の先生は担当セッション開始15分前までに次座長席にお越し下さい。
- 2) 円滑な学会運営のために各担当セッションの時間厳守をお願い致します。

8. 代議員の先生方へ

13:30からB会場にて平成25年度(公社)日本口腔外科学会中部支部代議員会を開催致します。

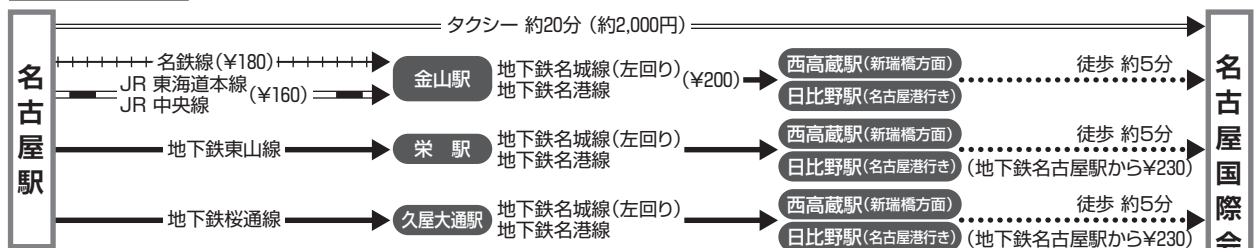
9. その他

- 1) ランチョンセミナー以外では各会場とも飲食は禁止です。ランチョンセミナーのお弁当は各会場先着80名とさせていただきます。受付で整理券をお配りしますので申し出て下さい。
- 2) 緊急呼び出しは総合受付まで御連絡下さい。
- 3) クロークは用意しておりませんので、会場の設備をご利用下さい。
- 4) 会場内は禁煙です。

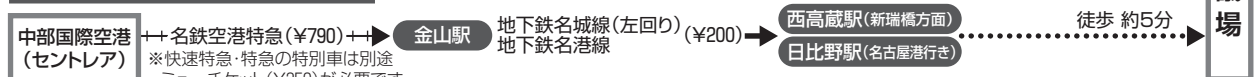
会場アクセス



名古屋駅から (所要時間約20分)

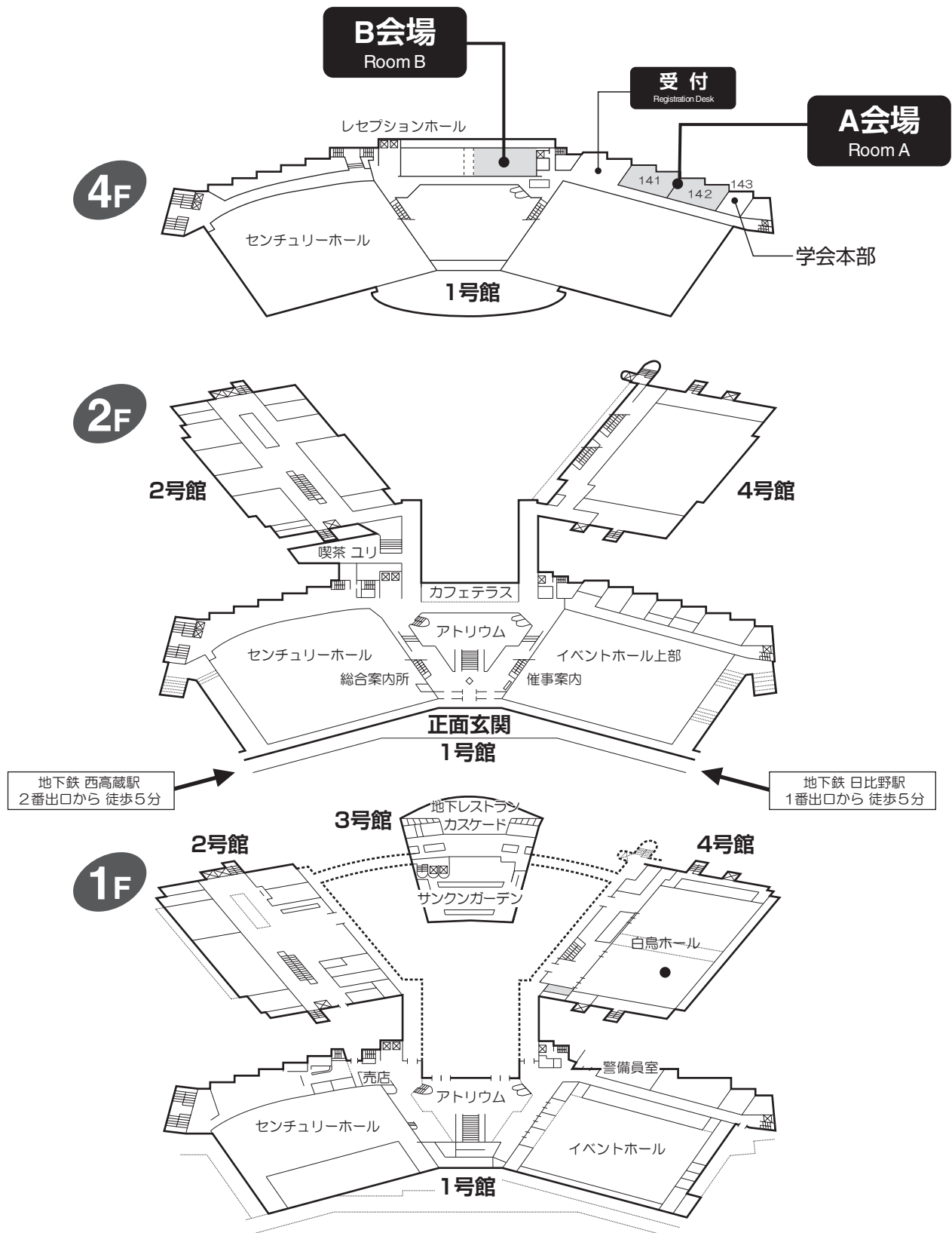


中部国際空港(セントレア)から (所要時間約40分)



※名古屋空港(小牧)からは、名古屋駅行きの直行バスをご利用ください。

会場案内



2013年 6月 15日(土) 名古屋国際会議場

A 会 場		B 会 場	
4F 141・142 会議室		4F レセプションホール	
9:00	9:00～ 9:10～ 開 場 受付開始		
	9:30～9:40 開 会		
10:00	9:40～10:04 一般口演 A-1 外 傷	9:40～10:04 一般口演 B-1 抜 歯 ①	
	10:04～10:28 一般口演 A-2 化学療法・カテーテル	10:04～10:28 一般口演 B-2 抜 歯 ②	
	10:28～10:52 一般口演 A-3 悪 性 腫 瘍	10:28～10:52 一般口演 B-3 先天性異常	
11:00	10:52～11:16 一般口演 A-4 診断・合併症	10:52～11:16 一般口演 B-4 良性腫瘍 ①	
	11:30～12:20 特 別 講 演		
12:00			
	12:30～13:20 ランチョンセミナー A	12:30～13:20 ランチョンセミナー B	
13:00			
	13:50～14:40 教 育 講 演	13:30～13:50 代議員会	
14:00			
	14:50～15:22 一般口演 A-5 顎関節・その他	14:50～15:22 一般口演 B-5 良性腫瘍 ②	
15:00	15:22～15:46 一般口演 A-6 粘膜疾患	15:22～15:54 一般口演 B-6 嚢 胞	
	15:54～16:18 一般口演 A-7 統 計 ①	15:54～16:18 一般口演 B-7 感 染 症 ①	
16:00	16:18～16:42 一般口演 A-8 統 計 ②	16:18～16:42 一般口演 B-8 感 染 症 ②	
	16:50～17:05 総 会		
17:00	17:05 閉 会		
	17:30～18:30 リフレッシュセミナー		
18:00			

プログラム

A 会場(4F 141・142会議室)

9:00～ 開 場

9:10～ 受付開始

9:30～ 開 会

一般口演 A-1 [外傷]

9:40～10:04

座長：福井大学医学部 感覚運動医学講座 歯科口腔外科学領域 大場 誠悟

A-1-1 両側下顎骨病的骨折を起こした濃化異骨症患者の治療例

浜松医科大学医学部 歯科口腔外科学講座 石塚理枝子

A-1-2 可撤式装置により保存的に治療し得た小児下顎骨骨折の2例

三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻臨床医学系講座 口腔・顎顔面外科学分野 中村 千穂

A-1-3 草刈り機による顔面裂傷の1例

市立敦賀病院歯科口腔外科 吉田 完

一般口演 A-2 [化学療法・カテーテル]

10:04～10:28

座長：名古屋市立大学大学院医学研究科 口腔外科学分野 重富 俊雄

A-2-1 広範囲に及ぶ口腔癌に対して、血流改変術を併用した従来型の 選択的動注化学療法が有効であった1例

春日井市民病院 蟹江 一泰

A-2-2 上顎洞内まで浸潤・増殖した進行性上顎歯肉癌に対して 超選択的動注化学放射線療法により著効が得られた1例

江南厚生病院 歯科口腔外科 安井 昭夫

A-2-3 難治性口腔内出血に対する血管塞栓術の一例

社会医療法人 明陽会 成田記念病院 小島 好博

一般口演 A-3 [悪性腫瘍]

10:28～10:52

座長：金沢医科大学医学部 顎口腔機能病態学講座 瀬上 夏樹

A-3-1 下顎歯肉に発生した腺様扁平上皮癌の1例

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター 長汐沙千穂

A-3-2 三叉神経痛との鑑別が困難であった原発性下顎骨内癌の1例

三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻臨床医学系講座 口腔・顎顔面外科学分野 堀 晃二

A-3-3 下唇に生じた脂腺癌の1例

富山大学 大学院 医学薬学研究部 歯科口腔外科学講座 中島 奨

一般口演 A-4 [診断・合併症]

10:52～11:16

座長：石川県立中央病院 歯科口腔外科 宮田 勝

A-4-1 舌扁平上皮癌の原発巣における悪性度と PET/CT の有用性

岐阜県立多治見病院 歯科口腔外科 小栗 崇

A-4-2 5-FU に起因すると思われる十二指腸穿孔をきたした1例

三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻臨床医学系講座 口腔・顎顔面外科学分野 永田 心

A-4-3 口腔癌切除術中に特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) を発症した一例

浜松医科大学医学部附属病院 歯科口腔外科学講座 田中 里枝

特別講演

11:30～12:20

座長：藤田保健衛生大学医学部 口腔外科 水谷 英樹

[全ゲノムシーケンス時代を迎えた遺伝医療の現状と展望]

倉橋 浩樹 藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 分子遺伝学

ランチョンセミナー A

12:30～13:20

座長：愛知学院大学歯学部 顎顔面外科学講座 深野 英夫

[われわれが取り組んでいる先天異常を中心とした 頭蓋顎顔面外科 ～機能と整容の両立を目指して～]

奥本 隆行 藤田保健衛生大学 医学部 形成外科

座長：愛知医科大学病院 歯科口腔外科 風岡 宜暁

医療現場におけるコンプライアンス：
患者さんとのより良い関係性の構築にむけて

内藤 宏 藤田保健衛生大学 医学部 精神神経科学講座

一般口演 A-5 [顎関節・その他]

14:50～15:22

座長：中津川市民病院 歯科口腔外科 澤木 佳弘

A-5-1 顎関節脱臼手術62例の検討 ―第3報、合併症について―

金沢医科大学顎口腔外科学講座 瀬上 夏樹

A-5-2 ナビゲーションガイド下にて顔面深部の異物除去を行った一例

豊川市民病院 歯科口腔外科 鈴木慎太郎

A-5-3 茎状突起過長症の1例

朝日大学 歯学部附属村上記念病院 大原 広子

A-5-4 自己抜去不能となった舌ピアス患者の2例

浜松医療センター 浅井 雄大

一般口演 A-6 [粘膜疾患]

15:22～15:46

座長：信州大学医学部 歯科口腔外科学講座 栗田 浩

A-6-1 扁桃組織が左右対称性に舌下面に生じた1例

岡崎市民病院 歯科口腔外科 高橋 暁史

A-6-2 口腔内潰瘍を初発症状とした MTX 関連リンパ増殖性疾患の2例

総合病院 中津川市民病院 歯科口腔外科 畑中 隆志

A-6-3 アフタ性口内炎を初発症状とした不完全型ベーチェット病の1例

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター 西脇 英恵

一般口演 A-7 [統計①]

15:54～16:18

座長：愛知学院大学歯学部 顎口腔外科学講座 吉田 憲司

A-7-1 顎下部および頸部に初発した悪性リンパ腫の早期発見に関する検討

独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 荒川美貴子

A-7-2 当科における過去10年間の顎矯正手術の臨床統計

愛知学院大学歯学部 顎顔面外科学講座 神谷 昇

A-7-3 県歯科インプラントネットワークの試みと市民公開講座参加者のアンケート調査結果

長野県歯科インプラントネットワーク 寺本 祐二

一般口演 A-8 [統計②]

16:18～16:42

座長：朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座 口腔外科学分野 村松 泰徳

A-8-1 当科における過去5年間の高齢者入院患者の臨床統計的検討

蒲郡市民病院歯科口腔外科 竹本 隆

A-8-2 当院における周術期口腔機能管理の実態調査および介入効果の検討 — 第1報 対象患者の実態および介入効果 —

藤田保健衛生大学 医学部 口腔外科 小林 義和

A-8-3 当院における周術期口腔機能管理の実態調査および介入効果の検討 — 第2報 口腔機能への対応の特徴 —

藤田保健衛生大学 医学部 口腔外科 奥井 太郎

総 会

16:50～17:05

閉 会

17:05

リフレッシュセミナー

17:30～18:30

座長：藤田保健衛生大学 医学部 歯科 松尾 浩一郎

〔 病院におけるがん患者の周術期口腔管理を
地域医療連携で運用するための考え方 〕

大田 洋二郎 静岡県立静岡がんセンター 歯科・口腔外科

B会場(4F レセプションホール)

一般口演 B-1 [抜歯①]

9:40～10:04

座長：名古屋医療センター 歯科口腔外科 宇佐美 雄司

B-1-1 下顎切痕部に認められた異所性埋伏歯の1例

市立伊勢総合病院 歯科口腔外科 谷口 真一

B-1-2 当科における60歳以上の智歯抜歯症例の検討

石川県立中央病院 歯科口腔外科 高木純一郎

B-1-3 特発性血小板減少性紫斑病患者の多数歯抜歯における
トロンボポエチン受容体作動薬ロミプロスチムの使用経験

藤田保健衛生大学 医学部 口腔外科 安藤真理恵

一般口演 B-2 [抜歯②]

10:04～10:28

座長：金沢大学大学院医学系研究科 がん細胞学講座 細胞浸潤学分野 川尻 秀一

B-2-1 全身麻酔下に智歯抜歯を行ったファブリー病患者の1例

公立学校共済組合 東海中央病院 歯科口腔外科 安田 聡

B-2-2 ブルガダ型心電図を呈した患者の手術経験

市立四日市病院 歯科口腔外科 上田 整

B-2-3 Rh 血液型 weak D の骨髄異形成症候群患者における抜歯の1例

岐阜県厚生農業協同組合連合会 揖斐厚生病院 歯科口腔外科 宮崎 康雄

一般口演 B-3 [先天性異常①]

10:28～10:52

座長：松本歯科大学歯学部 口腔顎顔面外科学講座 篠原 淳

B-3-1 舌縮小術を行った Beckwith-Wiedemann 症候群の1例

姫路赤十字病院 歯科口腔外科 小川 雄右

B-3-2 Sakoda complex の一例

名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科 野田 晴菜

B-3-3 遺伝子解析にて確定診断をし得た基底細胞母斑症候群の1例

金沢大学大学院医学系研究科がん医科学専攻
がん細胞学講座細胞浸潤学分野(歯科口腔外科) 小林 一彦

一般口演 B-4 [良性腫瘍①]

10:52～11:16

座長：富山大学大学院医学薬学研究部 歯科口腔外科学講座 野口 誠

B-4-1 上顎洞に発生した炎症性筋線維芽細胞腫の1例

江南厚生病院 歯科口腔外科 北島正一郎

B-4-2 再燃を繰り返した頸部胚中心進展性異形成の1例

金沢医科大学 顎口腔外科学講座 村井 正寛

B-4-3 下顎骨に生じた血友病性偽腫瘍の1例

岐阜大学大学院医学系研究科 口腔病態学分野 林 樹

ランチョンセミナー B

12:30～13:20

座長：豊橋医療センター 歯科口腔外科 湯浅 秀道

[睡眠障害とうつ — 歯科領域との関連]

北島 剛司 藤田保健衛生大学 医学部 精神神経科学講座

代 議 員 会

13:30～13:50

一般口演 B-5 [良性腫瘍②]

14:50～15:22

座長：三重大学大学院医学系研究科 病態修復医学講座 口腔・顎顔面外科学分野 乾 眞登可

B-5-1 頬骨に発生した骨腫の1例

豊橋市民病院 後藤 大輝

B-5-2 下顎小臼歯部に発生した石灰化上皮性歯原性腫瘍の1例

伊勢赤十字病院 歯科口腔外科 中村真之介

B-5-3 手拳大まで増大をきたした骨形成性エブーリスの1例

松阪市民病院 歯科口腔外科 吉岡 元

B-5-4 下顎歯肉痛を契機に発見された脳腫瘍の一例

信州大学医学部 歯科口腔外科学講座 横井 啓

一般口演 B-6 [嚢胞]

15:22～15:54

座長：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科 大岩 伊知郎

B-6-1 舌に発生したリンパ上皮性嚢胞の3例

沼津市立病院 歯科口腔外科 井染 洋

B-6-2 上顎前歯部に発生した腺性歯原性嚢胞の1例

公立能登総合病院 小山 岳海

B-6-3 下顎枝前縁部に発生した類表皮嚢胞の1例

愛知学院大学歯学部 顎口腔外科学講座 横井 共

B-6-4 経年的に骨欠損が増大した静止性骨空洞の1例

総合大雄会病院 歯科・口腔外科 水野 進

一般口演 B-7 [感染症①]

15:54～16:18

座長：名古屋大学大学院医学系研究科 頭頸部・感覚器外科学講座 顎顔面外科学 上田 実

B-7-1 ビスフォスフォネート関連骨壊死(Stage2)に対する低侵襲反復腐骨除去法の試み

松本歯科大学 歯科矯正学講座 高谷 達夫

B-7-2 原因特定に難渋し下顎体隙の炎症を繰り返した下顎骨骨膜炎の1例

愛知学院大学歯学部 顎口腔外科学講座 石河 嘉矩

B-7-3 当科におけるビスフォスフォネート関連顎骨壊死の臨床的検討

名古屋掖済会病院 歯科口腔外科 片山 良子

一般口演 B-8 [感染症②]

16:18～16:42

座長：岐阜大学大学院医学系研究科 病態制御学講座 口腔病態学分野 牧田 浩樹

B-8-1 高度肥満患者に生じた頸部ガス壊疽の1例

福井大学医学部 感覚運動医学講座 歯科口腔外科学領域 相木美那子

B-8-2 口腔領域に発症した PVL 産生型 MRSA 感染の1例

愛知医科大学 歯科口腔外科 吉村 一宏

B-8-3 動注化学放射線療法患者の MRSA 発症に関する検討

愛知医科大学 歯科口腔外科 山本 康博

講演

特別講演 11:30～12:20

A会場(4F 141・142会議室)

〔全ゲノムシーケンス時代を迎えた遺伝医療の現状と展望〕

倉橋 浩樹 藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 分子遺伝学

教育講演 13:50～14:40

A会場(4F 141・142会議室)

〔医療現場におけるコンプライアンス： 患者さんとのより良い関係性の構築にむけて〕

内藤 宏 藤田保健衛生大学 医学部 精神神経科学講座

リフレッシュセミナー 17:30～18:30

A会場(4F 141・142会議室)

〔病院におけるがん患者の周術期口腔管理を 地域医療連携で運用するための考え方〕

大田 洋二郎 静岡県立静岡がんセンター 歯科・口腔外科

ランチョンセミナーA 12:30～13:20

A会場(4F 141・142会議室)

〔われわれが取り組んでいる先天異常を中心とした 頭蓋顎顔面外科 ～機能と整容の両立を目指して～〕

奥本 隆行 藤田保健衛生大学 医学部 形成外科

ランチョンセミナーB 12:30～13:20

B会場(4F レセプションホール)

〔睡眠障害とうつ ― 歯科領域との関連〕

北島 剛司 藤田保健衛生大学 医学部 精神神経科学講座

全ゲノムシーケンス時代を迎えた 遺伝医療の現状と展望

倉橋 浩樹

藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 分子遺伝学



略 歴

1985年3月
大阪大学医学部医学科卒
(昭和60年卒)

1985年5月
大阪大学医学部附属病院
小児科 研修医

1986年6月
愛染橋病院 小児科 医員

1989年6月
大阪大学医学部 小児科 研究生

1991年9月
大阪大学医学部 臨床遺伝学
助手

1998年9月
フィラデルフィア小児病院
遺伝科 研究員

2001年7月
大阪大学医学部 臨床遺伝学
助手

2003年4月
藤田保健衛生大学 総合医科学
研究所 分子遺伝学 教授

2012年1月
藤田保健衛生大学病院
遺伝カウンセリング室室長
兼任

現在に至る

現在の専門は、ヒト染色体異常、
不妊、習慣流産の発生メカニズム
の研究、遺伝診療

小児科専門医

臨床遺伝専門医・指導医・責任指
導医

生殖医療に関する遺伝カウンセリ
ング受入れ可能な臨床遺伝専門医

臨床細胞遺伝学認定士・指導士

ヒトゲノムが解読されてほぼ10年が経過しようとしていますが、その間、遺伝子や染色体の解析技術は急速に進化し、遺伝医療は大きな変革期を迎えています。染色体検査はマイクロアレイ染色体検査によるデジタル化が導入されたことで、異常の検出感度が飛躍的に向上し、欧米ではすでに先天異常の領域でマイクロアレイ染色体検査は従来の顕微鏡で見るGバンド法に代わって第1線の検査となっています。遺伝子解析技術も次世代シーケンサーの開発により解析速度が飛躍的に向上し、従来のように疾患の原因遺伝子の候補を順次解析してゆく遺伝子診断から、一度に全遺伝子情報が得られるエクソーム解析の時代となり、臨床検査にも応用され始めています。さらに、遺伝子診断は、医薬品の薬効や副作用の出やすさなどの身近なことにも応用されてきた一方で、知能や肥満体質などの遺伝子検査も登場し、インターネット経由のあやしげな商売として成り立っています。このような時代の中で、わたしたちは、通常の臨床検査にはない遺伝子診断の特性に注意する必要があります。遺伝子配列情報は親子鑑定や犯罪捜査にも使われるように究極の個人情報とされています。その一方で、血縁者では共有する情報であることからわかるように、個人の範囲を越えた情報でもあり、遺伝子診断の結果が血縁者にも影響を及ぼすことを予想しておくことが必要です。また、遺伝子診断の結果は不変的な情報であり、生涯にわたって影響を及ぼします。その性質を利用したのが成人期以降に発症する疾患の発症前診断ですが、検査をする前に考えておかねばならないことがたくさんあり、治療法や予防法のある疾患とない疾患では考え方を大きく変える必要がでてきます。さらに、全遺伝子解析の時代になり、偶然に見つかる検査目的以外の予期せぬ異常にどう対応するかという大きな問題も発生してきました。藤田保健衛生大学病院では2004年に遺伝カウンセリング室を開設し、臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーが日々これらの諸問題に対応しています。わたしたちの実際の診療経験に基づいた遺伝医療の現状をお話ししてゆく中で、みなさんに遺伝医療の将来を展望していただければと思っています。

一 般 口 演

A 会場 (4F 141・142 会議室)

B 会場 (4F レセプションホール)

A-1-1 [外傷]

両側下顎骨病的骨折を起こした 濃化異骨症患者の治療例

○石塚 理枝子、長田 哲次、梅本 紘子、平野 智昭、
渡辺 賀子、増本 一真、加藤 文度
浜松医科大学医学部歯科口腔外科学講座

【緒言】濃化異骨症は小人症を呈し、頭蓋縫合および大小泉門の離開と開存、指趾末節の単縮、全身骨格系の骨硬化像と易骨折性、顔面骨の形成不全と下顎角の鈍化、口蓋正中の縦溝などを特徴とする常染色体劣性遺伝疾患である。口腔領域では、本症が菌性感染を併発した場合に難治性の顎骨骨髓炎を続発しやすいと言われている。今回われわれは、下顎骨骨折を起こした濃化異骨症患者の1例を経験した。

【症例】患者：56歳 男性。濃化異骨症患者。過去に下肢を7回骨折の既往あり。

【治療及び経過】上顎骨骨髓炎にて上顎骨切除後、外来通院中であつたが、右下678歯肉炎及び左下8埋伏歯起因の下顎骨周囲炎を繰り返すため、2011年2月に右下678抜歯及び腐骨除去、2012年12月に左下8抜歯及び腐骨除去を行った。いずれも術後1ヶ月以内に下顎骨の病的骨折を生じた。抜歯窩の生食洗浄を続けた結果、左右いずれの骨折も保存的治療にて骨癒合が確認された。

【結語】濃化異骨症患者への外科的侵襲は必ずしも禁忌ではないが、両側下顎骨病的骨折に対し保存的治療を選択し、骨癒合が確認できた。

A-1-2 [外傷]

可撤式装置により保存的に治療し得た 小児下顎骨骨折の2例

○中村 千穂¹⁾、清水 香澄¹⁾、佐藤 忠¹⁾、
山口 晋司²⁾、渡邊 由裕³⁾

1) 三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻
臨床医学系講座 口腔・顎顔面外科学分野

2) 独立行政法人国立病院機構三重病院 歯科・口腔外科

3) 紀南病院組合立紀南病院 歯科・口腔外科

小児下顎骨骨折の治療は、顎骨の成長発育、歯胚の発育を考慮して選択する必要がある。今回われわれは、可撤式装置により保存的に治療し得た小児下顎骨骨折の2例を経験したので、その概要を報告する。

【症例1】4才、男児。

主訴：左側頬部の腫脹。

現病歴：初診当日、同部を強打し当科受診となった。

現症：同部の腫脹と口底に血腫を認めたが咬合偏位はなかった。X線検査にて下顎骨正中部および左側下顎角部に骨折線を認めた。

処置および経過：FKO型床装置を約2週間装着し、咬合の安定を確認した後リテーナーに変更、その後約1か月間装着した。14か月経過した現在、経過良好である。

【症例2】5才、男児。

主訴：咬合偏位。

現病歴：交通外傷により当院に救急搬送され、当科初診となった。

現症：右側下顎乳犬歯より後方は、上方に偏位していた。X線検査にて右側下顎乳側切歯、乳犬歯間で骨折線と骨片の偏位を認めた。

処置および経過：受傷8日後、全身麻酔下に非観血的整復術を施行した。右側下顎乳側切歯、乳犬歯間をワイヤーにて結紮、FKO型床装置を装着した。しかし、翌日、FKO型床装置の装着を拒否したため、これを除去し、両側上下顎乳犬歯から第二乳臼歯にブラケットを装着した。15日間顎間ゴムにて固定し、咬合が安定したため、リテーナーに変更、その後約1か月間装着した。13か月経過した現在、経過良好である。

第38回(公社)日本口腔外科学会 中部支部 学術集会
プログラム・抄録集

会 長：水谷 英樹 藤田保健衛生大学 医学部 口腔外科

事務局：藤田保健衛生大学医学部 口腔外科

準備委員長：佐藤 公治

〒470-1192 豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98

TEL：0562-93-2210

E-mail：jsoms38_c@fujita-hu.ac.jp

出 版：(株)セカンド
 株式会社セカンド
学会サポート <http://www.secand.jp/>

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025